

大阪が誇るマエストロ瀬山智博！
感動の「新世界交響曲」と、外山啓介と贈る
チャイコフスキー傑作コンチェルト！！

「指揮」
瀬山智博

21世紀の 新世界

「ピアノ」
外山啓介

チャイコフスキー…

歌劇「エフゲニー・オネーギン」より、**ポロネーズ**

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op. 23

ドヴォルザーク…

交響曲第9番 ホ短調「新世界より」 op. 95

〔管弦楽〕 関西フィルハーモニー管弦楽団

2017 **1/7** (土) 2:00pm開演
(1:00pm開場)

ザ・シンフォニーホール

7/24(日) 発売

A5,500円 B4,500円 C3,000円 (全席指定/消費税込) 主催/朝日友の会、朝日放送 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

ご予約

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00(火曜定休)]

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:301-721]
■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:57392]
■CNプレイガイド 0570-08-9990
■E+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ 検索 携帯サイトはこちら▶▶▶
<http://abc-ticket.pia.jp/>



座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!

お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション (朝日放送内) 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<http://asahi.co.jp/symphony/>

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

21世紀の 新世界

大阪が誇るマエストロ瀬山智博！
感動の「新世界交響曲」、
外山啓介と贈るチャイコフスキー傑作コンチェルト！！

大阪出身、ウィーン在住の今最も活躍が期待されるマエストロ瀬山智博さん。新年を彩る「21世紀の新世界」に新風を吹き込むべく登場です！

瀬山さんは、小澤征爾氏、佐渡裕氏も優勝者に名を連ねる「ブザンソン国際指揮者コンクール」でファイナリストに残った実力の持ち主。ウィーン国立音楽大学在学中に、楽友協会合唱団に入団し、合唱団員として名だたる指揮者やウィーン・フィルなどと共演。巨匠達の音楽作りを自ら体験して指揮者としての腕を磨きました。これまでに、BBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団など多くに客演し、オペラでは佐渡さんの副指揮を務めるなど、関西期待の星として注目を集めています。ドヴォルザークがアメリカで故郷チェコを想って描いた傑作「新世界交響曲」を、遠くヨーロッパで活動する瀬山さんが関西フィルとどんな世界を創造するのか期待が高まります。

前回に続きソリストに日本を代表するピアニスト外山啓介さんを迎え、ドヴォルザークと親交があったチャイコフスキーの「ピアノ協奏曲第1番」をお贈りします。瀬山×外山、次代を担う30代の若き才能。新春の爽やかな顔合わせ公演です。

瀬山智博

1979年大阪生まれ。大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科卒業。指揮をこれまでに湯浅勇治、小澤征爾、ウーロシュ・ライオヴィッチ、ヨルマ・バヌラ、ファビオ・ルイジ各氏に師事。ウィーン国立音楽大学在学中、2003年にウィーン楽友協会合唱団(Wiener Singverein)入団。多くの世界的指揮者、オーケストラとの共演を通して研鑽を積む。06年にイタリアのシエナ・キジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを所得。08年ドイツのアーヘン歌劇場においてコレペティートルとして活動。翌年ウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場のオペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でオペラ指揮者デビュー。10年夏にはオーストリアのプレゲンツ音楽祭においてアシスタントコンダクターを務めた。これまでにBBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ウェーベルン交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、などを指揮。ゲオルグショルティ国際指揮コンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。16年ドイツのデッサウ歌劇場のオペラガラコンサートを指揮。9月からマゲブルク歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)に就任予定。



外山啓介

札幌市出身。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ドイツ(ハノーファー音楽演劇大学)留学を経て、11年東京藝術大学大学院を修了。洗足学園音楽大学非常勤講師。07年『CHOPIN: HEROIC』でCDデビュー、サントリーホールをはじめ各地で行われたデビュー・リサイタルが完売となる。その後08年『インプレッションズ』、09年『ラフマニノフ』、10年『幻想ポロネーズ』と毎年新作CDを発表し、11年には初のベスト盤をリリース。13年のCD『展覧会の絵』は「レコード芸術」誌特選盤に選出された。14年、映画『砂の器』のテーマ曲「宿命」を東京・大阪にて演奏(ライブ録音CD発売)。15年はオール・ショパン・プログラムの全国リサイタル・ツアーを実施、夏には最新CD『ショパン:バラード全集』をリリース。全国各地でのリサイタル・ツアーを毎年実施、主要オーケストラとの共演も多数あり、その繊細で色彩感豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から高い評価を得ている。



外山啓介公式サイト

<http://www.keisuke-toyama.com>



関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2003年NPO法人化、2014年認定NPO法人化。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆へ勇気と感動を与える活動を展開。地域密着の重視など、明確なビジョンで挑戦を続ける個性派楽団として好評を博している。14年10月よりスタートしたBSジャパン

の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜夜11時)に藤岡幸夫と共に出演中。15年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。

オフィシャルホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>